

1

●行政訴訟印紙廢止

本邦今回の税制整理案に於ては行政訴訟用印紙の貼用を廢止することとなり居れるが其の理由に行政訴訟は民事商事の如く人民相互の紛争にあらずして行政機關の不當若しくは違法處分に對して提起せらるゝものなるが故に國家は寧ろ充分訴訟の余地と與へ人民の權利を保護すると同時に行政機關を監督するの要は既に行政訴訟と同一目的を有する審査請求又は訴訟に對する手数料を徴せざる以上は行政訴訟に手数料を徴収するは當を得ずと云ふにあり

江阿河川に渡し、山中竹林の如きは、雖往
 數十年になき田畠の大數を聚り人民
 ために飢渴に瀕せるもの、穀を生ずるも
 有權にて殊に目下は清原鼠疫に際し
 居れるを以て恤状を呈するもの、穀が
 少ゆくの如く食料等に欠乏を告げ應も
 現狀なるが故之れが間接の保護救済法
 として、蠲減は其の防禦令を廢し以て穀
 物の輸出を禁じたるものなるべしと、
 説諭として傳へらる（奉天通信）
 ▲在郷軍人春季大會 當地在郷軍人團
 にては來月十一日紀元節の佳日として
 春季大會を開議する由にて目下、其れ
 準備中なるが殊に今期は昨年、殊期

の出

費の如きは兎角免念に行はれずして甚だ遺憾の點多かりしも昨秋に於て一大改革を加へたる結果成績頗る好となり昨今に至りては團務の整理も充分となり今秋大に奮發せんと意氣漲々たり
●觀察道の新工事 平安橋通觀察道にて本年度に着手するべき新工事の主なるものは拉山街道なる當地より倉仁に至る約二里豫算二萬五千圓江西より時陽に至る巨難約三經里費一万五千圓蘇州街なる貴州團に於ける橋梁二十餘所の修繕費四千圓等なるが何れも本年中に竣工せしむべき計畫にて此の關係人員の選定次第着手すべし平橋通信

1

第廿六席 邑井一講演

み「へー、妻の手の内に三十兩取つて
と云ふ相が出て居りますか 正、ウム、中
て居るやこちやあない、ちやうどと
はれて居る み「恐ろしいものでせよ
李(旦)那はんの有仰る通りでござり
す、眞個に詫かりました、妻は其様
事は出来ませんぞ申しました、けれど
も實は旦那様が博奕に負けて首つ懸
ちやう、大層な借金、妻が諸と云つて
入を匿くして呉れらば俺も借金を返
すことも出来るし、れ前にも一割返
すはれ」云ふ無頼者、妻も衣類を
つ貰ひたいと思つて居る所でござ

1

四十年以來不振を極めたる市場は漸く多量なる時機に入らんとす抑もこの兩三年間市場の不振なりし原因とも云ふべきは半島到處の農民の蝸起したるに於て貨入拂却し我八十圓を補助するに下付する筈ながら尙今十二圓、滿たずるものと雖も本年四月までに目的地に到着す滿十二圓に達したるものは矢張り英貨八磅即ち我八十圓を補助するに

要

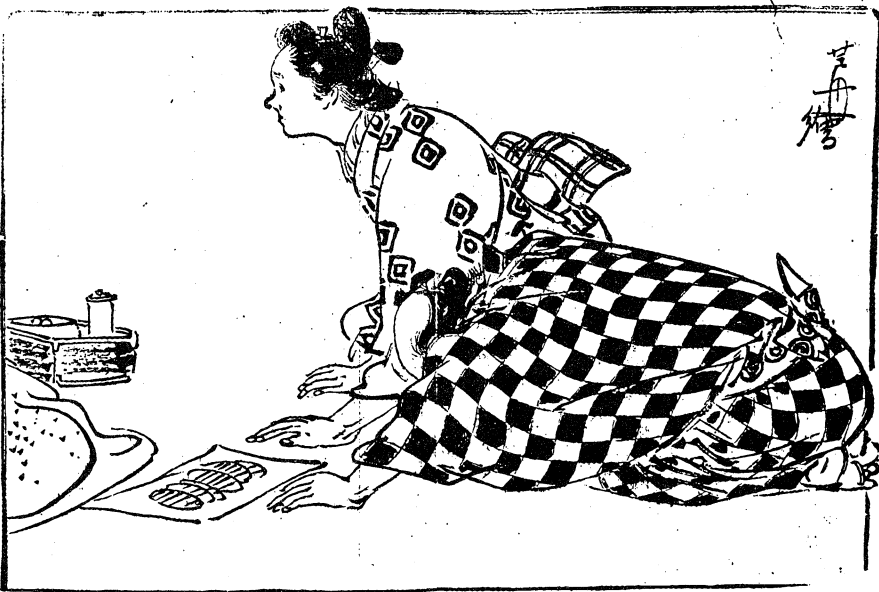
則も彼は彼は是にて依然行政事務の
進捗を爲しつつありと當事者は語れり

地	方	通	信
---	---	---	---

▲潮州防敵令を發す 吉林黒龍の清國
巡撫は同地土民の常食たる高粱等に對
して防敵令の内訓を發したると傳説

22

入を匿^{かく}して呉^くれど、俺も借金を返さ
 ことも出来^きなし、れ前にも一割^{いち}道^{みち}るこ
 はれ〜と云^いふ御^ご頼^{たの}み、妾も衣類^{いり}を
 つ買^かひたいと思^{おも}つて居^ゐる所^{ところ}でござい



から、悪い事とは知りながらも此れ
さんが舞をやつて居られますうち
陳を見て紙入の中から三十金、密に
出したに相違ありません、さうして
舞はしたは其金を用算の下の袖打に
舞ひましろ、正「ウム、さうでわらう
機に運びない、ちやんと表の手の
に金を用算の下の袖打に仕舞つて
ると云ふ相が出て居る、悪いことと
出来ないのでございます」傍で聞
て居つた人達はアツと計に呆れま
した、金八は見る／＼うちに顔色臭蒼
なつてアル／＼顔を出した、手代の
夫れ／＼領主へ舞出でて處分をして
よが何うぢやな、私は何と置くさう
干練の御寄匠、鎌倉の正宗でありま
る、金八は驚いて兩手を支き、金「ア
夫れでは今天下に名高い日本一の刀
治正宗はさう居つたりするしたか
知らぬことは云ひながら、惡いこと
を致しました、何うぞ御許しを願ひ
す」正「イヤさう詮なら理便にして
るが、越げばれおさんも十手取繩を
かつて居ると言ふではないか、新様
が領主様へ聞かて見さつしやい、述
安達では済みはせぬ、私も餘計なこ

路之助は突然金八の胸倉を捕へて、
「ヤイ／＼チヤ、手前は太い奴だ、ヨ、
俺も俺の金を盗んな、金を盗んだ
のはまだしもだ、俺も俺を彼様
に若しめたのだ、ザ、ザ、残念」と
拳を固めて振り倒した。正宗は「ア、
是れ／＼、さう手荒いことをしてはな
りません、お前さんも読めないのだ、
主人の金を持出して嫁人などを運れ
て歩く／＼なんて、甚宜しくない、其様な
ことをして置きながら人を打擲するな
どは怪しからんぢやないか、然し金
八とやらも誠に過りました、後悔致
さずに死してやらう、さうでなければ
さい、

とは思つたが縁あつて隣居敷でれ前
ん方の話を聴いて其儘には済まされ
私の気象、依つて此席へ来て見るに
何うもた前さんの様子が怪しい、左
は異者と偽つて此の女中を試みてし
たが、案外此女が愚直であつたた
に早速判つたのぢやが、誠にハヤ氣
毒なことを致した、金八何う悪い
ことを致しました、當時判つた真
宗匠なればこそ斯うやつて理非を
問ふことになる力があると云ふもの
で、今分るゝこともしましたが、今
日のことを致したのは始めてで、さ
うなバツなことを致したのは始で
さいます、イヤ全く尋うございし

是からスツカチ改心致します。たまのやれ納家へ住つて用、質簡の捕手から先刻の金を持って来くんな、ね龜にやつた三兩の金も持て来て呉れ。み「ハイ」長まゝでござい、旦那はん妾に十兩た呉んなはるでございませうな、もし旦那はん「金」コン「何を話らぬことを言て居るんだ、何でも宜いから早く取て来い」み「でも一雄貰つた三兩を返すんですもの、十兩も呉れず、其上三兩まで取上げる」と云ふのは餘り酷いぢやアありませんか」正「ウム、好し」此の正宗は虚言を云ふものではない。

井張、兩戸、障子、硝子戸、其他表具、建具一式

表具 京城町 電話二一八七番
建具 商石川辰次郎

御料理席貸

和樂園 高田家

○料理は萬事御手輕にして高向
○國內は至極閑靜にして別世界
○大庭高燒女として見晴し景城一
○大廣間の設備も有之候間集會
又は宴會等に適當に候

統監府御用
 宮内府御用
 軸物、表装、金銀屏
 風、額面、襖、壁張、天

實と管とし大勉強仕使也
宮内府 御用
博物館
古今美術圖書衣裝
金銀屏風襖洋式天井
器町二丁目
衣具 松月堂
電話千〇〇三番
天下大安賣
種子苗木
無敵
庭者 食

診察 自午前九時
至午後五時
每月十五日休業
眼科
科
院

刺妻淑子儀病氣の處養
生不相叶去廿日死去仕候
就ては來廿三日午後一時
大和町三丁目自宅出棺本
願寺に於て葬式執行仕候
此段尋知諸君に謹告仕候
明治四十四年一月廿一日

實兄
服部正一郎
手塚肇
小田倉啓

公方午御申の支那
無代進豆

東京内藤新宿
日本種苗株式會社

龍山元町二丁目
佐藤病院
電話一〇三番

入院隨意
小兒外科
梅毒淋病
院長 陸軍軍醫正 高井 貞治

電話二二六〇
高井醫院
京城藤町三丁目

金萬の多量に拘はらず十二
分の即便利と圖り迅速御相
談に應ず莫物は可事に取扱
極めて安全に一定の場所に
保管す

京城曙町
大槻商行貨部
流質品と雖も場所の許す限り
可成長期間大切に留保し
萬遺漏なきを期す

中村
耳
鼻
咽
喉
清國領事館
前
入院隨意
赤貧者施療

